

【評価実施概要】

事業所番号	171100209		
法人名	株式会社さくらコミュニテイサービス		
事業所名	満快のふる郷さくら千歳		
所在地	〒066 - 0078千歳市勇舞1丁目7番15号 (電話) 0123 - 27 - 3987		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年12月1日	評価確定日	平成20年12月29日

【情報提供票より】 (H20年11月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 1月16日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数 計	18 人
職員数	17人	常勤14人 非常勤 3人 非常勤換算 1.15人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建ての1~2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	光熱・暖房費等30,000円
敷 金	有 (150,000円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要 (12月1日現在)

利用者人数	17 名	男性 6 名	女性 11 名
要介護 1	3名	要介護 2	5名
要介護 3	5名	要介護 4	4名
要介護 5	0名	要支援 2	0名
年齢	平均 84.8 歳	最低 60 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾谷病院・尾島歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは千歳駅北方、タクシーで10分の新興住宅団地内にあり、広い敷地に余裕のある居室・居間・トイレ・浴室が介護しやすいよう配置され、ベランダがあり、自然光を豊かに取り入れる施設である。敷地には花壇や畑があり、隣接地には公園が設けられ、散歩などの格好な条件に満ちている。職員は訓練された資質で優しく明るくきめ細かな対応により、家族等から評価を得ている。運営推進会議を定期的開催し、地域・家族委員の提言や協力と参加の機会をホーム運営に活かしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価に当たっては綿密な改善計画を纏め、課題を期間別に明らかにして、改善項目を経過的に確認をして評価に臨んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	月例会・ユニット会議をもとに、介護計画作りの過程に至る見直しなどの検討と共に、日々の課題検討を行い自己評価に活かしている。
重点項目	委員構成は民生委員、町内会長、包括支援センター、利用者、その家族からなり、協議はホームの活動報告、地域の協力と行事参加、地域資源(保育児・小学生などの活動を含む)の活用、家族の意向の汲み取る場としても会議の結果を有効に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	アンケート調査、意見箱の設置、訪問時の面談、推進会議の家族・本人参加など積極的な家族等の意向の汲み取りに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	開設5年、地域関係者の運営推進会議の参加と協力、団地の発展充実と近隣公園の整備、保育園や小学校等社会資源との協力関係がすすむなど、ホームの運営と活動に対する地域の理解がすすんでいる。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民の1人として、尊厳を持って利用者本位で自立を支える方針を「6つの誓い」として実践理念を示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	この誓いを毎朝唱和するとともに、ケアの実践の過程でこれを確かめ、月例会などの課題として個々のケースの処遇に活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会への加入、役員としての参加、祭りなど行事の参加と協力関係をはかり、保育園・小学校の学芸会交流、ホーム自体の「さくらまつり」に参加を求めるなど、盛んな交流を進めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職場の組織的な活動として、改善すべき項目を挙げ、期間までの点検など、課題を明らかにした解決の確認をもとに評価を進めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は定期的開催し、家族・本人の参加もある。包括支援センターの専門的助言と連携、地域関係者による協力関係の情報交換、家族等利用者関係の提言を積極的に運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>業務上の情報交換の他、市開催のケア会議への参加、運営推進会議での包括支援センターとの情報交換と助言を得ている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時の面談には、ケース記録の開示や口頭報告、定期的な電話による生活状況報告、毎月の所在確認とともに手紙による連絡など、利用者の状態に応じた連絡を保っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>リスクマネジメント委員会で作成したアンケート調査を行ない、苦情や意見の提言にはその内容を記録し、原因解明の協議を重ね解決に当たるなど、職員間に漏れなく周知している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離退職・異動には利用者個々の事情を考慮した細心の留意のもとに対応をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新入職員には研修マニュアルに従ったOJTの実施、他に、定期的な外部の研修受講などの機会を提供している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者間交流の機会への参加による情報交換や、その研修、講座等で職員の資質向上に役立っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の情報交換を大切にした取り組み（見学、昼食を提供するなど）を土台に、家族等からの情報を積み重ねて、馴染みある雰囲気の醸成や利用者の理解が深まるように努めて対応をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者からも時に調理法・歌や踊りを教えてもらうなど、同じ目線での支援に努めている。ドライブや買い物なども共に楽しみながらのお付き合い関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントや介護計画の展開に当たってはセンター方式の記録を精査して、ニーズの分析検討と協議を重ねて、個々の状況に応じた対応を工夫している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画に至る生活記録・家族情報の収集と日常の行動観察など、職員間の共同作業と情報交換・分析・判断が連携づけられて作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居時、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月ごとの見直しがあり、利用者の心身の変化や家族との整合を含め、組織的・時間経過的に準備されて見直しがされている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>提携医や看護師による健康管理やホーム内で出来るリハビリの支援などがある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員と提携医とが、かかりつけ医との連携を図り、日常の健康管理を行い、24時間の緊急対応での医療連携体制を整えている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人や家族に意向を大切にしながら重度化や終末期での対応には、かかりつけ医の指示のもとに、全職員で対応できる体制を整えている。実例経験もある。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々のプライバシーや、羞恥心などを損なうことのないよう全員が留意した対応に努めている。個人的な記録の管理についてもプライバシーマークを貼付して、鍵付き保管している。記録はイニシャル表示などの配慮をしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者個々のペースやリズムに合わせた支援を重視し、1週間の予定を組みながらも、利用者本位の自立支援を弾力的に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好き嫌いなどの情報を熟知して、楽しみの多い食事となるような準備段階での会話や、一緒に調理しながらともに楽しみあうなど工夫を重ねている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴希望を自ら訴える利用者は少なく、本人の状況に合わせて声をかけを行っている。時間的特定はなく、しかるべきときに強制することなく入浴を促している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴などをふまえて、食事の前後の準備や後片付け、茶碗洗いなどそれぞれに役割を持ってひと時の生活が出来る支援やカラオケ・将棋などの好みをともに楽しみながらの支援など細かな工夫をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の状態をみて散歩、外気浴などの支援をしている。隣接して出来た団地内の公園は、格好な散歩の場になっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由な出入りを方針として、職員間の共通理解のもとに対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の火災訓練に実施、夜間帯を想定した訓練、搬送法の勉強などもしている。地域の協力を働きかけるなど実質の伴う訓練に努めている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量・水分補給量などの確認をバイタルチェックとともに一覧に記録し、個々の心身の変化に応じて活かす支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間の広さ、浴室まわり設備関連の高いケアし易い機能性、トイレ箇所の多さ、採光・斜光・換気調節などに留意し、居間の調度・季節感や利用者の作品掲出で和やかな雰囲気を作り、居心地のよい環境を整えている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は馴染みの家具調度を配置し、家族などからの贈り物飾るなど、家族と相談しながら居心地のあり方に配慮している。</p>		

 は、重点項目。